

計 装

コミュニケーション

第47号
2020年9月



計装士会発行

目次

第23回通常総会

通常総会

次第	1
令和1年度 事業報告	2
2019年度 収支決算書	4
令和2年度 事業計画並びに収支予算（案）	5
代表挨拶	6
新代表就任のご挨拶	7

地区活動報告

見学会

関東・甲信越地区	（企画・研修委員会：稲生 充）	8
・①株式会社秩父富士 小鹿野工場・両神工場 ②秩父錦『酒づくりの森』		

コラム

「義父の携帯電話（格安スマホ）更新」	（千代田システムテクノロジー株式会社 富岡 邦夫）	12
--------------------	---------------------------	----

賛助会員会社名簿	15
幹事名簿	16
入会資格と入会・退会手続きについて	17
計装士会ホームページのお知らせ	18
投稿募集	19

第23回通常総会

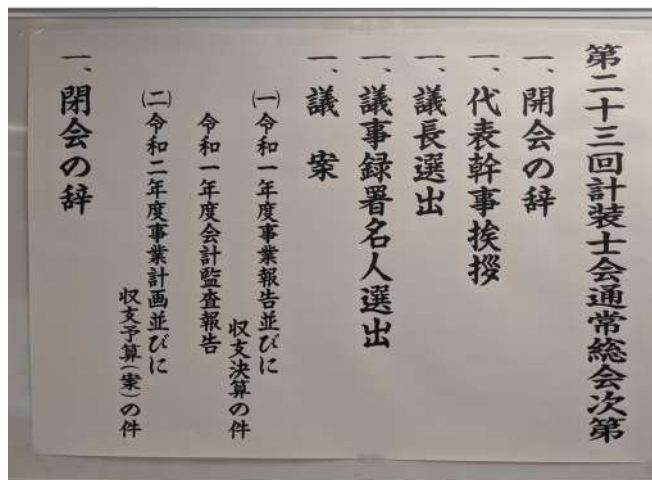


総会風景

当初開催予定の4月より延期となっておりました第23回通常総会は、令和2年7月30日（木）東京・霞が関の東海大学校友会館において開催されました。

新型コロナウイルス感染症防止の為、3密（密閉、密集、密接）を避け規模を縮小しての開催となりました。

以下の次第により議案の審議を行い、すべて承認されました。



通常総会次第

令和1年度事業報告

本年度も「会活動の拡大・活性化」を目標に講演会・勉強会・見学会を全国各地で開催致しました。

一般社団法人日本計装工業会、一般社団法人電気設備学会との共催等、会活動拡大と活性化を図ることができました。

さらに、会報やホームページの充実に努め、会員の知識と技術向上に向けた活動に努めて参りました。

その結果、新規入会者62名を得て、会員登録者を2,367名とすることができました。

また、会活動の財政基盤の充実と活動の安定を図るため、各企業に賛助会員の継続および新規加入をお願いし、会の趣旨をご理解頂き、45社より賛助を得ることができました。

以下に今期実施した事業内容をご報告致します。

主事業内容

1. 幹事会および委員会を開催しました。
 - ・幹事会4回の開催及び「企画・研修」「広報」「会計」各委員会の開催
 - ・全国7地区の幹事による地区幹事会の開催
2. 会報「計装コミュニケーション」45号（2,800部）、46号（3,700部）の発行および一般社団法人日本計装工業会発行機関誌「計装技術」（各会員へ4冊/年）を配布しました。
3. 会員への情報提供と会員相互の交流を目的としたホームページの充実に努めました。
4. 技術維持講習会場における入会勧誘および会員増強に向けたPR活動を行いました。
5. 会員相互の交流、技術と知識の向上を目的とした講演会、勉強会、見学会を開催しました。

一般社団法人電気設備学会東北支部と共催、東北電力株式会社女川原子力発電所、一般社団法人日本計装工業会と共催、関西電力株式会社黒四ダム発電所、一般社団法人日本計装工業会と協賛、株式会社秩父富士小鹿野工場、両神事業所、秩父錦酒づくりの森、中国新聞社印刷工場、みなとアクルスエネルギーセンター、サンライズクリーンセンター岩国、石丸製麺株式会社、四国電力株式会社坂出發電所等見学会5地区、「在室者の気持ちに寄り添う新しい空調計装の世界」の勉強会7回、を実施しました。（参加者合計263名）

実施概要

- (1) 東北・北海道地区： 勉強会 福田一成講師 令和1年 9月27日
在室者の気持ちに寄り添う新しい空調計装の世界
- (2) 東北・北海道地区： 施設見学会 令和1年10月31日
東北電力株式会社女川原子力発電所
一般社団法人電気設備学会と共催
- (3) 関東・甲信越地区： 施設見学会 令和1年 6月28日
関西電力株式会社黒四ダム発電所
一般社団法人日本計装工業会と共催
- (4) 関東・甲信越地区： 勉強会 福田一成講師 令和1年11月27日
在室者の気持ちに寄り添う新しい空調計装の世界
- (5) 関東・甲信越地区： 施設見学会 令和2年 2月21日
秩父富士株式会社小鹿野、両神工場、
秩父錦 酒づくりの森
- (6) 中部・北陸地区： 勉強会 福田一成講師 令和1年 8月 1日
在室者の気持ちに寄り添う新しい空調計装の世界
- (7) 中部・北陸地区： 施設見学会 令和1年12月10日
みなとアクルスエネルギーセンター
- (8) 近畿地区： 勉強会 福田一成講師 令和1年 9月20日
在室者の気持ちに寄り添う新しい空調計装の世界
- (9) 中国地区： 勉強会 福田一成講師 令和1年 7月18日
在室者の気持ちに寄り添う新しい空調計装の世界
- (10) 中国地区： 施設見学会 令和2年 2月14日
中国新聞社印刷工場、サンライズクリーンセンター岩国
- (11) 四国地区： 勉強会 福田一成講師 令和1年 7月25日
在室者の気持ちに寄り添う新しい空調計装の世界
- (12) 四国地区： 施設見学会 令和1年11月22日
石丸製麺株式会社、四国電力株式会社坂出發電所
- (13) 九州・沖縄地区： 勉強会 福田一成講師 令和1年11月15日
在室者の気持ちに寄り添う新しい空調計装の世界

なお、開催にあたり各見学会施設殿、一般社団法人日本計装工業会殿、一般社団法人電気設備学会殿、賛助企業殿より多くのご支援を得ることができました。

2019年度収支決算書

2019年4月1日より2020年3月31日まで

I. 収入の部

(単位：円)

事業項目	予算額	決算額	差異 (△は収入超過)	備考
会費 (2,200名 × 3,000円)	6,600,000	6,536,000	64,000	99.03% ・3千円：2178名 ・2千円：1名
賛助会費 (60,000 × 65.0口)	3,900,000	3,900,000	0	
雑収入	0	26	△ 26	普通預金利息
会費2019年度前受金 (2020年度以降分)	0	297,000	△ 297,000	
前年度繰越金	6,501,962	6,501,962	0	
合計(A)	17,001,962	17,234,988	△ 233,026	

II. 支出の部

(単位：円)


事業項目	予算額	決算額	差異 (△は支出超過)	備考
広報活動費	100,000	33,312	66,688	33.31%
会報・技術資料発行費	1,500,000	1,212,466	287,534	80.83%
交流・研修・見学会費	3,100,000	2,131,779	968,221	68.77%
ホームページ運用費	200,000	165,360	34,640	82.68%
会議費	850,000	322,850	527,150	37.98%
通常総会費	1,800,000	1,515,513	284,487	84.20%
一般管理費	6,840,000	6,399,062	440,938	93.55%
(人件費・交通費)	(4,730,000)	(4,605,662)		
(什器備品)	(1,510,000)	(1,464,003)		
(通信運搬費)	(400,000)	(276,197)		
(雑費)	(200,000)	(53,200)		
予備費	2,611,962	0	2,611,962	0.00%
合計(B)	17,001,962	11,780,342	5,221,620	
次期繰越収支差額(C)=(A)-(B)	0	5,454,646	△ 5,454,646	
支出合計	17,001,962	17,234,988	△ 233,026	

監査報告書

2019年度予算にかかわる決算の結果について、監査を実施したところ収支決算書に示す通り正確であることを認めます。

2020年6月//日

監査 五十嵐 貢 

監査 別府明敏 

令和2年度事業計画並びに収支予算（案）

1. 基本方針

- (1) 全国各地区における会活動の展開
- (2) 会員相互の技術交流と知識向上に向けた活動
- (3) 計装工事の技術伝承活動
- (4) 会報並びに各種技術情報の提供
- (5) 計装士の地位向上に向けた広報活動

2. 事業計画

- (1) 講演会・見学会・勉強会を全国7地区で開催する。また一般社団法人日本計装工業会及び他協会、学会との連携による共催にも努める。
- (2) 一般社団法人日本計装工業会及び賛助会員企業との連携強化により地区活動をさらに活性化させる。
- (3) 本会の趣旨活動内容を広報し、会員の増加と賛助会員の拡充を図り、財政基盤の確立に努める。
- (4) 会報「計装コミュニケーション」を年2回発行し、一般社団法人日本計装工業会発行「計装技術」（年4冊）とともに会員へ配布する。
- (5) 「計装士会ホームページ」の充実を図り、会員への技術・知識に関する情報提供を促進する。
- (6) 計装技術の重要性を一般社団法人日本計装工業会との連携により広報し、計装士の社会的地位向上に努める。

これらの活動を通して「社会に応える計装士」の育成に向けて会員の技術・知識向上と人的交流を目指した活動を充実・発展させてまいります。

令和2年度収支予算（案）

[収入の部]		(単位：円)	[支出の部]		(単位：円)
会費	6,600,000		広報活動費	100,000	
(2,200名×3,000円)			会報・資料発行費	1,500,000	
			交流・研修・見学会費	3,000,000	
			ホームページ運用費	200,000	
			会議費	680,000	
			通常総会費	600,000	
賛助会費	3,840,000		一般管理費	6,130,000	
(64口×60,000円)			(人件費・交通費)	(4,910,000)	
			(什器備品及事務用品等)	(620,000)	
			(通信運搬費)	(400,000)	
			(雑費)	(200,000)	
前年度繰越金	5,454,646		予備費	3,684,646	
合計	15,894,646		合計	15,894,646	



代 表 挨拶

計装士会代表幹事
伊藤 浩明

「令和2年7月豪雨」により被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

そして、今年に入り新型コロナウイルス感染症が発生・拡大してまいりました。

4月に予定されていた本総会も延期となり、本日規模を縮小して開催することとなりました。

このような中、本日参加頂いた方々には、心より感謝申し上げます。

会の運営に当たっては、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からのイベントの開催制限の基本的な考え方に基づき、収容定員の50%以下にすることに加え、十分な間隔をとって進めてまいります。

また、要点を絞ることで時間短縮にも努めてまいりますので、ご理解の程お願い致します。

さて、計装士会の活動は「会活動の拡大、活性化」を目標としておりますが、上期の活動は自粛を余儀なくされております。会員の計装技術・知識の向上、若手技術者の育成の観点からも上期活動は、下期に延期をし、年間を通しての計画は実行したいと考えております。詳細の活動計画は議案の中でご報告致しますのでご審議をお願い致します。

合わせて、この先の感染症の状況をみて、適切に運営してまいりますので皆様のご支援・ご協力もよろしくお願い申し上げます。

最後に、総会終了後に第一回の幹事会が行われます。その中で、新代表幹事を選出する運びとなっております。その結果は、ホームページ及び会報“計装コミュニケーション47号”にて公表致しますのでご参照の程、お願い致します。



新代表就任のご挨拶

計装士会新代表幹事
大脇 剛

7月30日の第1回幹事会におきまして前任者（伊藤代表）のご勇退に伴い、ご指名により後任として代表幹事を務めさせていただきます大脇と申します。

平素は国土交通省関係者様をはじめ一般社団法人日本計装工業会様及び賛助会員企業様ほか、多大なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

先般開催いたしました第23回通常総会におきましてご報告が有りました通り、昨今のコロナ禍により総会の延期、2020年度前期の諸行事計画も困難な状況となり下期に期待することとなりますが、まだまだ先が見通せない状況です。来年に延期されましたオリンピック開催についても予断を許さない状況となっており、更に大雨による川の氾濫の増加、囁かれる大地震の発生など、悲観的な情報が流布されております。

一方で、このような状況に在りましても設備の高度化施設運転、新規建設、災害等の予防的施工は継続しており、コロナ禍に依り建設は若干落ち込んでいるもののICT活用は拡大するなど、今後も環境・エネルギー政策関連、情報関連の工事が行われる中で技術者・技能者の不足傾向は続いて、ますます技術者の設計施工能力、質の向上が求められています。一昨年には「特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する基本方針」も出されており、外国人材の増加も見込まれるなか、計装士の活躍が益々重要視されると思っています。この社会的要求に応えるべく、一般社団法人日本計装工業会及び賛助会員企業との連携により、会活動の活性化・会員の技術向上に努めてまいりたいと思えます。計装士会は平成9年3月に設立され、今年度は24年目を迎えますが引き続きご支援、ご協力をお願いします。

結びにコロナの収束が見えない中ですが、3密を防止し、ソーシャルディスタンス確保などのコロナ対策を実施したうえで、今後の諸活動を推進していく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しく願いいたします。

会員の皆様・賛助会員等関係者様のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

関東・甲信越地区 見学会報告

企画・研修委員会
太平電業株式会社 稲生 充

実施日：令和2年2月21日（金） 8：30～19：00

見学施設：① 株式会社秩父富士 小鹿野工場
埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野755-1
株式会社秩父富士 両神工場
埼玉県秩父郡小鹿野町両神簿236-2

② 秩父錦『酒づくりの森』
埼玉県秩父市別所字久保ノ入1432

共催：計装士会・一般社団法人 日本計装工業会

参加者：33名（うち計装士会12名）

1. はじめに

今回は「株式会社秩父富士 小鹿野工場・両神工場」および「秩父錦『酒づくりの森』」の見学会を実施しました。参加者は総勢33名、うち計装士会からは12名が参加しました。

バスにて池袋駅を出発し、最初の見学先である株式会社秩父富士 小鹿野工場に向かいました。小鹿野工場にて、秩父富士殿より工場概況のご説明をいただき、その後富士電機殿より「インバータによるファン・ポンプの省エネ手法」・「操作表示機器の概要」について講演頂きました。

昼食後、小鹿野工場・両神工場にて電磁接触器、セレクトスイッチ、ヒューズ等の見学をさせていただきました。秩父富士殿の工場見学終了後、秩父錦『酒づくりの森』を見学、その後は、池袋駅までバスで移動し、解散となりました。

当日は、昨今の新型コロナウイルスの流行に対する感染防止を考慮し、終日を通してマスクの着用、手のアルコール消毒の徹底を図った見学会とはなりましたが、事故や遅延もなく全工程を完了し、無事に見学会を実施する事ができました。また、参加いただきました皆様からのアンケート結果も好評であり、見学内容についてご満足いただけたのではないかと考えております。

2. 株式会社秩父富士殿 工場見学

1) 株式会社秩父富士殿 会社概要

会社名：株式会社秩父富士

設 立：昭和42年2月13日

資本金：80,137万円

従業員：474人

事業所：1. 本社・小鹿野事業所

2. 両神工場

3. 長若事業所

2) ガイド付き見学ツアー

施設概要の紹介・説明後、2班に別れてコマンドスイッチ、集合表示灯、シートキーボード、ヒューズ等の制御機器製品の工場見学をさせていただきました。工場は、成形フロア、プレスフロア、組立フロアと大工程ごとにフロアが分かれており、かつ各フロアにおいて製作工程に沿ってラインが形成されておりました。生産比重に合わせた設備の増強／削減、それによる製造ラインの配置見直し、動線の短縮化等、常に効率化改善を実施されていることを説明いただきました。

製作ラインは、機械作業／人力作業がMIXされた状態で形成され、大量単一種類の製作に関しては機械作業、また少量多品種の製作については手作業で行われていました。また、製造機械は、自社で開発・製作されているとの事でした。モノづくりのノウハウを知っているからこそ、人力に頼る部分、機械に頼る部分を分けし、手作業と機械作業の絶妙なバランスをとることで、余分な設備投資をせずに工場運営ができていると感じました。

品質管理においては、製造機械に対する日々のチェックシート（手記）を、データ化・蓄積保存・分析をすることで、設備の予防保全として活用されておりました。また、手作業で組み立てた製品の外観検査においては、カメラによる画像正誤識別を採用して、ヒューマンエラーの防止がされておりました。社員からのアイデア改善提案が、月に一人当たり10件ほど提出され計500件ほどになるとのことで、品質性と生産性を同時にアップできるような効果の大きな案に関しては、表彰を行っているとの事でした。この様な社員一人一人の取り組みが、結果的に高いレベルの品質管理が維持できている大きな要因であるということを説明いただきました。

開発から製品設計、金型設計製作、製造設備設計製作、量産対応、品質保証まで全て自社完結させており、完全一貫体制を構築することにより、午前10時までの注文は当日中に発送という目標に対して達成率95%を実現している工場でした。



写真1 集合写真（株式会社秩父富士殿 小鹿野工場）



写真2 秩父錦「酒づくりの森」

3. 秩父錦『酒づくりの森』見学

創業寛延二年（1749年）の株式会社 矢尾本店殿の酒蔵、秩父錦『酒造りの森』を見学しました。

清酒秩父錦蔵元の歴史は、江戸中期、初代 矢尾喜兵衛 が寛延二年（1749年）、近江より出でて秩父大宮郷（現在の秩父市）に屋号「升屋利兵衛」の開業に始まり、創業270有余年、現在9代目となる歴史のある酒蔵でした。清酒醸造蔵見学の後、観光物産館にて『秩父錦』を代表とする美味しいお酒をお土産にして、帰路につきました。



写真3 秩父錦『酒づくりの森』酒蔵資料館・物産館

4. おわりに

今回は、制御機器を製作されているメーカーを選定し見学会を企画しました。私自身、今回の見学会に参加したことで、自社の業態とは違う製造業でありながらも作業の効率改善活動やクリティカルパスの管理手法には自身の業務と共通する部分も多く、新たな気付きを得ることができ有意義な見学会となりました。参加いただいた皆様にも、何か得ることがあったのであれば幸甚です。

最後に今回の見学会にご協力いただきました株式会社秩父富士殿、及び株式会社矢尾本店殿の関係者皆様に厚く御礼申し上げます。

【執筆者紹介】

稲生 充 (いのう みつる)
太平電業株式会社
工事本部 火力管理部



義父の携帯電話（格安スマホ）更新

千代田システムテクノロジーズ株式会社
富岡 邦夫

先日、我が家全員の携帯電話（5台）の更新（機種変更）に合わせ、義母の携帯電話も更新（機種変更）する事にして、遂に義母（73）はスマホデビューする事になった。義母は15年前には携帯電話（ガラケー）を使用開始していたが、スマホは高価で操作が難しそうだからと、ガラケーを使い続けてきた。流石に世の流れには逆らえず、孫たちの後押しもありスマホデビューする事になった。ガラケーからスマホへの機種変更は同じ会社であった事もありメール引継ぎ等の手続きが簡単に済み、内部データもそれ程なかったため更新後約2時間後にはLINEまで出来るようになっていた。

一方、義父（75）も約4年使い続けた格安スマホのバッテリーがもたないため機種変更を計画していたらしく、義母の機種変更に同席する事になった。前回機種変更前の格安スマホを契約した際は、義父単独で携帯ショップへ向かい契約手続きを完了させたが、義父の思いがお店の店員になかなか伝わらず、相当苦戦して手続きを完了させた苦い記憶があり、今回は私と妻にお店の店員との通訳を頼みたいとの事で、同席する事になった。機種変更へ向かう際、私と妻からも義母と同じ機種変更を推奨したが、簡単には首を縦には降ってもらえなかった。

お店での機種変更手続きは、義母を妻が対応し、義父を私が対応する形で契約手続きを開始した。義母の手続きは前述の通り簡単に事が運び、何一つ躓かずに手続きが完了した。義父はとにかくコスト重視で、月々の支払いが現契約（格安スマホ）以下でないと契約しないと言い出し、今回のお店には格安スマホのラインナップがないため、結局契約出来ず現契約（格安スマホ）のお店に問い合わせる事にするとの事で、お店を後にした。

次の土曜日早朝、妻の携帯に義父から連絡が入り、格安スマホを機種変更したからセットアップをお願いしたいとの事で、妻は義母と同じ機種を選ばなかった事を理由に、機種変更したお店にお願いして欲しいと一度はボールを義父に返したが、再度依頼され次の日（日曜日）に私がセットアップする事になった。今回義父の機種変更手続きは、店頭で手続きしたのではなく電話対応のみで機種変更手続きをしたようで、電話の相手は若い女性だったらしく、家族全員が上手く乗せられたものと思っていた。その若い女性曰く、セットアップは以前よりも簡単で、分からない場合も電話対応で全て操作を指示してもらえるととの事で、顧客獲得のため電話対応サービス員の向上を図っているとの事

だった。最初は新型の格安スマホが届いた平日の昼間に義父がセットアップを開始したらしいが、結局義父と電話対応のサービス員の言葉が噛み合わず、セットアップを断念し妻に電話してきたとの事だった。

頼まれた私も格安スマホのセットアップを行った事などある訳もなく、まずはマニュアルを読み始め、手続きの順番から確認しはじめると、横で義父が電話の向こうの人と話して欲しいの一点張りで、既に電話をかけ始めサービス員と話し始めた。直ぐに義父は私に代わって欲しいとの事で代わってみるとサービス員方も困っていて、やはり言葉が通じていない事が分かった。その後、私はマニュアルを基に手続きを進め、この電話で手続き出来る内容が電話番号の引継ぎのみである事を知り、義父にその旨を伝えると更に困った表情を浮かべていた。電話番号の引継ぎには数時間かかる事をサービス員から指示され、セットアップは一旦中断し夕方再開する事で、残りのセットアップはアドレス帳とE-メール及びLINEの再開手続きである事を義父と確認し、E-メールとLINEの再開手続きには登録時のパスワードが必要である事を伝えると、困った表情を浮かべ一旦お開きになった。夕方、セットアップを再開し電話番号の引継ぎが完了したが、E-メールとLINEが開通出来ない事が理解出来ず、イラつきながらセットアップを再開し、LINEの方は妻が得意で簡単に再開する事が出来た。E-メールのアカウントは旧機種の手帳内に入っているため分かったが、パスワードはそれらしいものをいくつか入力してみたが全て違うものだったらしく、パスワードの再発行手続きを調べ私的には簡単にできる事が分かり、その旨を義父に伝えるとこの先は平日に自分でやるからと、そそくさと帰ってしまった。もう少し義父が我慢できていれば、1時間以内でセットアップ完了出来るはずだったのに、我慢の限界だったみたいで後味の悪い終わり方になってしまった。

更に一週間が過ぎ気になっていた義父のセットアップについて妻に聞いてみると、面倒くさいのでほっといてるとの事で、今度は妻がご立腹の様子でした。まだセットアップが完了していない事を察知し、妻から義父へ連絡させセットアップを再開しようと声を掛けると、飛ぶような勢いで義父が来た。E-メールのパスワードの再発行手続きを手順通り行っていくと、本人確認で登録している電話からでない申請が出来ない事が分かり、登録電話が義父の自宅電話（固定電話）のため、今度は義父の自宅へ移動し手続きを再開したところ、約30分でE-メールも開通し、不通になっていた約3週間分のE-メールが一斉に届きとても喜んだ。

その後、今回セットアップに必要なとなった、ID、アカウント、パスワード全てのデータを紙に記録し、更にその記録を義父携帯の写メ、私の写メ及び妻へ転送し共有する事にした。結局、携帯電話の機種変更に必要な事は下記の通りで、下記に必要な記録をきちんと保管しておく事が大事で、特に年長者殿のユーザーはその保管が出来ていない人が多いらしい。

-
- ① 携帯番号引継ぎのためのMNP申請
 - ② アドレス帳の引継ぎ（通信、記憶媒体、または手動の何れかによる）
 - ③ 契約会社のマイページ設定
 - ④ E-メール再開通手続き（要アカウント、パスワード）
 - ⑤ LINE再開通手続き
 - ⑥ 写真引継ぎ（通信、記憶媒体、機種による）
 - ⑦ その他、必要アプリの引継ぎ

今回分かった事は、年長者殿の携帯契約の際は必ずご子息が同席し、契約の際はご子息が携帯会社のご担当と話すことが望ましい。E-メールのパスワード再発行手続きを電話対応にて進めていた際、義父がサービス員と会話すると全く通じていなく、サービス員は申し訳なさそうに、契約者さんではなくお隣におられる話が分かる方に代わって頂けないでしょうかと何度も言われ、それも我慢の限界に繋がってしまったものと思われる。また、後で分かった事だが、前回（4年前）の契約時最初に機種代（ハードウェア費）を払っていたらしく、月々の支払いが安い理由はそれだった。結局義父の費用はイニシャルコストとランニングコストを考えると、義母の同コストを比較すると若干は安いかもしれないが、手続きにかかった日数とMHより同等かそれ以上にも感じられる。

最後に、本書を読んで気を悪くされた方には申し訳なくご容赦下さい。

【執筆者紹介】

富岡 邦夫（とみおか くにお）
千代田システムテクノロジー株式会社
第1事業本部国内計装部



令和2年度 計装士会賛助会員会社名簿

令和2年8月6日現在
(五十音順) 43社

アイ・ビー・テクノス (株)	住友電設 (株)
旭国際テクネイオン (株)	第一工業 (株)
アズビル (株) ビルシステムカンパニー	ダイダン (株)
(株) オーテック	太平電業 (株)
(株) 川瀬電気工業所	高砂熱学工業 (株)
(株) 関電工	(株) 中部プラントサービス
(株) 木内計測	千代田システムテクノロジーズ (株)
(株) 九電工	(株) トーエネック
(株) きんでん	(株) 東京エネシス
栗原工業 (株)	東光電気工事 (株)
(株) クリハラント	東芝プラントシステム (株)
向陽電気工業 (株)	東テク (株)
三機工業 (株)	東邦電気工業 (株)
(株) 三興	東洋熱工業 (株)
(株) サンテック	日鉄テックスエンジ (株)
J-POWERジェネレーションサービス (株)	日本電技 (株)
四国計測工業 (株)	日本電設工業 (株)
島津システムソリューションズ (株)	富士古河E&C (株)
昭和アステック (株)	豊楽興産 (株)
(株) 昭和電業社	(株) ユアテック
ジョンソンコントロールズ (株)	横河ソリューションサービス (株)
須賀工業 (株)	

令和2年度 計装士会幹事名簿

令和2年8月3日現在

(運営幹事)

代表幹事	大脇 剛	(株)三興 SKGRコーポレート本部 技術企画・教育センター センター長
副代表幹事	笹生 健司	(株)きんでん 情報通信本部 情報通信技術部 技監
企画・研修委員(長)	島崎 真	ダイダン(株) 東京本社 設計部 設計第一課 担当部長
企画・研修委員	稲生 充	太平電業(株) 工事本部 火力管理部 電装課 課長
企画・研修委員	津田 穰二	高砂熱学工業(株) 東京本店 電気計装部 制御システム課 担当課長
企画・研修委員	吉野 賢治	東光電気工事(株) 首都圏東支社 内線第二部 内線第一課 課長
広報委員(長)	阿部 達也	ジョンソンコントロールズ(株) オペレーション推進本部 オペレーション管理部 関東圏OPS購買Gr マネージャー
広報委員	金子 啓市	(株)関電工 営業統轄本部 プラント設備部 副長
広報委員(兼務HP)	藤森 一	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 技術本部技術企画部 担当部長
ホームページ委員(長)	藤森 一	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 技術本部技術企画部 担当部長
会計・庶務	富岡 邦夫	千代田システムテクノロジー(株) 第1事業本部 国内計装部 国内計装セクション2 セクションリーダー
監査	別府 明敏	旭国際テクネイオン(株) 中国事業所 技術本部
監査	五十嵐 貢	(株)オーテック 環境システム事業部 技術統括部 担当部長

(地区幹事)

東北・北海道地区代表	鈴木 和彦	(株)ユアテック 営業本部 電気設備部 部長兼 プラントグループリーダー
同上業務連絡先	松木 哲郎	(株)ユアテック 営業本部 電気設備部 プラントグループ 副長
東北・北海道地区	西川 博康	東芝プラントシステム(株) 東北支社 技術グループ 参事
東北・北海道地区	川崎 久	三機工業(株) 東北支店 建築設備部 部長
中部・北陸地区代表	柏原 達司	(株)トーエネック 営業本部営業部技術提案グループ
中部・北陸地区	清水 寿昭	(株)中部プラントサービス 工事本部 工事総括部チーフリーダー
中部・北陸地区	小池 敏明	アズビル(株)中部支社 中部サービス部
近畿地区代表	石山 輝英	(株)きんでん 技術本部 プラント工事部 課長
近畿地区	大久保精之	住友電設(株) 技術本部 技術開発室 主席
近畿地区	平 裕二	ダイダン(株) 大阪本社 技術管理部 担当部長
中国地区代表	平方 清志	(株)中電工 電気技術部 工場工事担当課長
同上業務連絡先	土井長昭義	(株)中電工 電気技術部 工場工事担当専任課長
中国地区	濱本 和信	中電プラント(株) 火力部 課長(火力担当長)
中国地区	難波 康治	高砂熱学工業(株) FS部 営業課 課長代理
中国地区	玉木 久則	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 中四国支店技術部1グループ マネージャー
四国地区代表	田村 隆之	四国計測工業(株) エネルギー・環境事業本部 電気計装部 管理課 管理課長
四国地区	小林 直広	(株)四電工 システム技術部システム技術課 システム技術課長
九州・沖縄地区代表	今吉 俊博	(株)九電工 技術本部 電気技術部 プラントグループ副長
九州・沖縄地区	松原 正義	高砂熱学工業(株) 九州支店 営業部 設計課 課長
九州・沖縄地区	山路 鉄次	アズビル(株) 九州支店 サービス本部 九州サービス部 安全マイスター

入会資格と入会・退会等手続きについて

計装士会 事務局

1. 入会資格

計装士会会則の第5条（抜粋）より本会会員は次の者とします。

- (1) 正会員 一般社団法人日本計装工業会が実施する計装士資格試験に合格し、1級・2級計装士の資格を有する者
- (2) 賛助会員 本会の目的に賛同し、本会の事業を賛助する個人または法人

2. 年会費・入会手続き

- (1) 年会費 ・正会員：3,000円/年（入会金なし）、振込手数料は会員負担
・賛助会員：会費は別規定（確認は事務局まで）
- (2) 入会 ・正会員：当会指定用紙「入会申込み書・住所等変更届はがき」（用紙は事務局まで）
・賛助会員：別途指定用紙による申込み（用紙は事務局まで）
- (3) 会費納入 ・正会員：「払込取扱票」（郵便局）による（用紙は事務局まで）
口座番号 00150-3-356308
加入者名 計装士会
・賛助会員：別途銀行指定用紙による（用紙は事務局まで）

3. 住所変更等手続き

当会指定はがき：正会員は原則として「入会申込み書・住所等変更届はがき」に必要事項を記入し提出のこと。場合によりFAXでも可。

4. 退会手続き

当会を退会希望する場合は、必ず退会の届出・連絡が必要となります。下記の要領により事務局まで退会届を提出して下さい。

(1) 退会届提出要領

- ① 当会指定の「入会申込み書・住所等変更届はがき」の右上空欄に退会届と明記して提出する。
- ② 当会指定の「届はがき」が手元にない場合は、必ず事務局までFAXか電話で退会の連絡を願います。
- ③ 会員本人が死亡などの場合は、事務局が連絡を受けた時点において受付・処理します。

(2) 年会費納入義務

退会の場合は、必ず退会当該年度までの年会費納入を義務とし、当該年度末（3月31日）退会を原則とします。ただし、会員本人が死亡などの場合は、事務局が連絡を受けた時点までの納入会費で終了とします。

計装士会ホームページのお知らせ

付記：ホームページパスワード変更

追加：正会員のEメールアドレス登録について

計装士会 ホームページ分科会
事務局

計装士会ホームページURLは下記のとおりです。

URL <http://www.keisoshikai.gr.jp/>

会員の皆様へのより早い情報の提供と対応、更に内容の充実を図って参りますので、多くの皆様方の活用とご意見をお聞かせ下さるようお願いいたします。

- 内 容：1. 計装士会事業活動状況・報告
2. 会員コミュニケーション
3. 研修会・見学会・勉強会の技術情報、その他
4. 会員事務手続きおよび問合せ
5. 各種案内（研修会・見学会・勉強会参加案内、その他）

お願い：計装士会は一般社団法人日本計装工業会とは別団体、別組織の運営・活動となっております。各種の問合せは等は間違いのないようご注意ください。

ホームページ技術資料公開のパスワード変更（会員専用）

新パスワード：keisoshikai20

実 施 日：令和2年4月より実施

<お願い>

会員の皆さんへ各種情報・お知らせ等を発信できるようになりました。下記のいずれかの方法で、皆さんのメールアドレスをお知らせ下さい。

- ①当会より定期的に送付される「払込取扱票」の通信欄のE-mail：の項に記入の上、会費振込時にお知らせ下さい。
- ②または、FAXにてお知らせください。（FAX：03-5846-9166）

【投稿募集】皆さんの投稿でより充実した会報に！

広報委員会

本年度の活動方針に「会報並びに各種技術情報の提供」が盛り込まれています。会員のための会報を提供するためには、より多くの会員の皆さんに参画していただき、連携して会報を作っていくことが重要です。

つきましては、下記のテーマで会員に役立つと思われる内容の記事（関連の写真があれば添付）を投稿いただきますようお願い申し上げます。

<テーマ>

1. 技術情報
日常業務の中で体験，調査・検討された作業改善，トラブル事例とその応用・改善等（現場作業での事例を特に歓迎します）
2. 身近な情報
珍しい話題，行事
3. 海外での特異な体験
4. その他
多くの会員に役立ち，参考になるとと思われる情報
5. デジカメデータまたは写真（JPG.）
撮影年月日，撮影対象，写真提供者名を明記
記事または表紙写真を採用の場合には，薄謝を進呈します。

<原稿送付先>

〒101-0031
東京都千代田区東神田2丁目4-5 東神田堀商ビル 4階
一般社団法人日本計装工業会内
計装士会
Tel. 03-5846-9167 Fax. 03-5846-9166

なお、E-mailで送付される場合には、計装士会事務局まで、上記のTelにてご相談ください。当会メールアドレスをお知らせします。



広報委員会

委員長	阿部	達也	ジョンソンコントロールズ(株)
委員	金子	啓市	(株)関電工
委員	藤森	一	アズビル(株)

事務局	横山	洋一	計装士会	事務局
-----	----	----	------	-----

ぼくは、
計装士会
マスコットの
インスです。
大きな耳で
情報を集め、
みなさんに技術・
知識に関する情報を
提供できたらと
頑張っています。



計装士会の活動

- 技術向上へ向けた研修会・見学会・懇話会を全国で開催
- 会報・ホームページによる各種技術資料・情報を提供
- 社会的地位向上への活動

計装士会

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目4-5 東神田堀商ビル4階
一般社団法人日本計装工業会内
Tel. 03-5846-9167 Fax. 03-5846-9166
URL <http://www.keisoshikai.gr.jp/>